

▶ ワイヤロープ式防護柵用支柱カバー

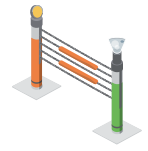
ヴィカバー (Vicover)

Wirerope Pole Cover

実用新案登録済

NETIS 登録製品

技術名称：ワイヤロープ式防護柵用支柱カバー
登録番号：KT-210104-A



DELINEATOR



支柱を可視化



防護柵の機能を阻害しない



施工性に優れ管理しやすい



ワイヤロープ式防護柵は車両衝突時に支柱だけが倒れ、ワイヤロープは高さを保持し、そのたわみで車両を元の車線に戻す仕組みです。

ワイヤロープの高い安全性を保持したまま、車線分離標の視認性を兼ね備えた着色支柱カバーです。

📍 特長

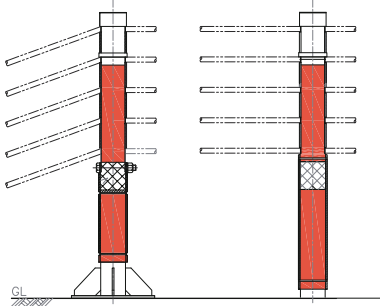
- 支柱の可視化により、視認性が向上します。
- ステンレスストラップに干渉しないため、ワイヤロープの衝撃吸収機能を阻害しません。
- 薄暮時にも視認性が高い蛍光塗装。
- 半円形状の2枚の本体を、両面テープと結束バンドで取り付けるだけのスピード施工！
- 金属を使用せず、1枚わずか250gと軽量。
- 高い屈曲性を持ち、耐久性・耐候性に優れます。
- 重ねて保管できるため場所を取りません。
- ワイヤロープの優れた視距(ドライバーが道路前方を見通すことのできる距離)を確保します。



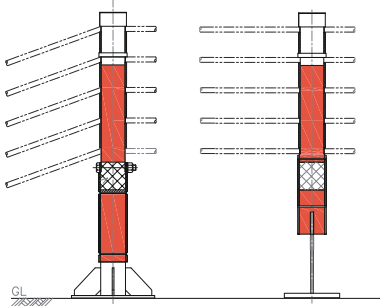
株式会社ネクスコ・メンテナンス東北と共同開発

標準図

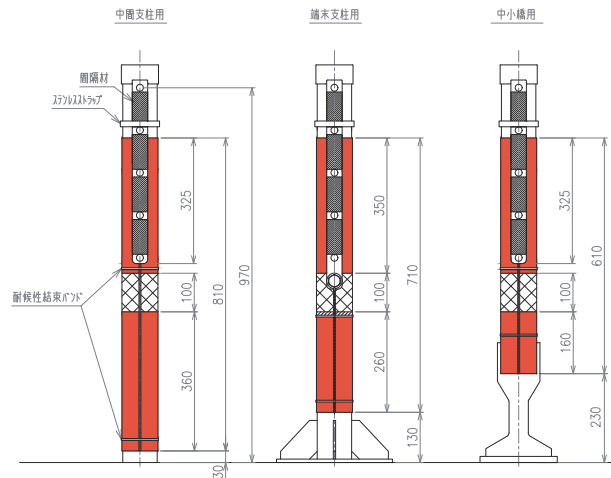
▶ 土工部



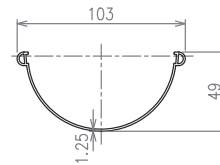
▶ 中小橋



設置図 S=1:10



断面図 S=1:3



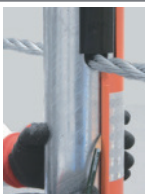
施工手順

01



プラスチックハンマーで間隔材(4箇所×両面)の位置をセンター(縦並び)に合わせる。

02



カバーを押し付けて鉛筆などで支柱にセンター線を野書く。(支柱の切り欠きとカバーの溝を合わせる)

03



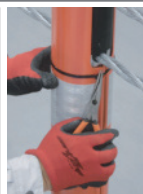
脱脂材とウエスで支柱を洗浄・脱脂する。(主にカバー内側の両面テープにあたる部分)

04



カバー内側の両面テープの剥離紙を剥がし(3箇所ずつ)、センター線に合わせて支柱に押し付ける(両面)。

05



カバーの窪みに合わせ、ラジオペンチで結束バンドを締め付ける(上下2箇所)。

06



ニッパーで結束バンドの余り部分を切り落とす。

NOHARA 株式会社アークノハラ

本社：〒160-0022
東京都新宿区新宿1-1-11
TEL：03-3351-9301 FAX：03-3355-0639
URL：https://arc-nohara.co.jp